

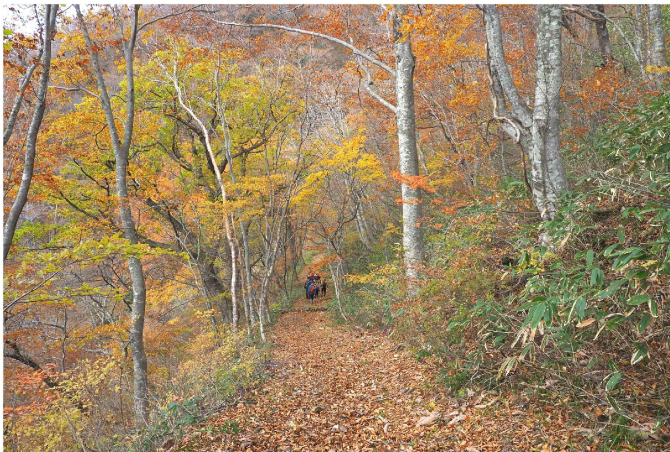


赤谷プロジェクトでは、環境教育WGの一環として、春、夏、秋、冬の年4回にわたって「赤谷の森自然散策」を行っていきます。みなかみ町（エコパーク推進課）との共催で行っているもので、募集すればすぐに定員に達する人気を誇っております。



三国街道散策開始

ながら、群馬県側三坂線入口から新潟県側駐車場までの旧三国街道(国有林)を散策するコースです。散策後には、猿ヶ京に古くから伝わる民話語りや紙芝居を鑑賞するもので、サブタイトル「自分の秋が見つかる森」と銘打って行いました。10月1日から定員30名で一般参加者の募集を行い、当日のほぼ午前中で定員に達する人気でした。



紅葉のトンネルを進む

自然観察会は、一時期小雨も降るなど天気が心配でしたが、途中晴れ間も覗き予定どおり行う事が出来ました。開会式のあとバス等に乗り込み群馬県側の駐車場まで移動し3班に分かれて散策開始。1班のガイドは赤谷プロジェクト地域協議会の長濱陽介さん、2班のガイドは当所OBの石坂忠さん、3班は当所職員の玉井で行い、それぞれ持ち味を発揮して参加者に説明をしていました。一般参加者は全員群馬県内の人で、遠くは高崎市で、他は地元のみなかみ町沼田市の人でした。アンケートの結果、初参加者の人がほとんどで、地元にながら昔から興味があったがなかなか行く機会が無く、ちょうど今回の募集を



ガイドの説明に聞きいる参加者

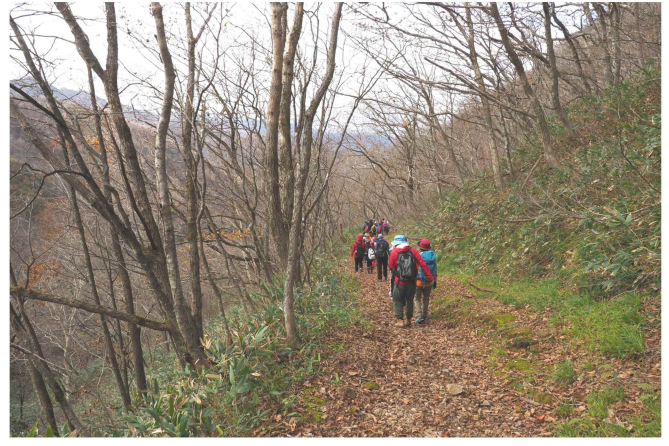
みて応募したという人もいれば、最近みなかみ町に引っ越してきた家族もおられ、いずれも思い出になったとのことでした。一方「赤谷プロジェクト」については、地元の人参加者の多数を占めていたにもかかわらず知らない人の方が多く、まだまだPRが足りないと感じました。今回はみなかみ町、民話と紙芝居の家、ボランティアで参加してくれた小濱義也さん、石飛誠さん、青木邦夫さんの協力を得て無事終わることが出来ました。お礼を申し上げます。



みんなで記念写真 (三国権現(御阪三社神社))



民話語りをする持谷靖子さん



新潟県側は木の葉もなく、すっかり冬模様



紙芝居をする宮崎りえ子さん

今回は、赤谷の森自然散策会(冬)が令和2年2月8日(土)に予定されております。スノーシューを履いて雪の赤谷の森を散策し、動物の足跡を観察、雪遊びをする内容となっております。聞くだけでワクワクドキドキしませんか。

1月6日9時から募集開始。
定員・30名先着順となっております。
ります。

※詳しくは、赤谷森林ふれあい推進センターホームページ等で確認してください。

「赤谷の森自然散策(冬)」開催のお知らせ

イベント名/開催日時

赤谷の森自然散策(冬)
2月8日(土)
8時15分～15時

開催場所・集合場所

みなかみ町
「赤谷の森」いきもの村
集合

イベント内容

スノーシューを履いて雪の赤谷の森を散策し、動物の足跡を観察したり、雪遊びをしませんか。
動きやすい服装、昼食持参。
スノーシューは無料で貸出し。

申し込み・問合わせ先

参加費・無料
申込・電話、メール
申込期間・1月6日9時～定員になり次第締切り
定員・30名

参加/申込方法

赤谷森林ふれあい推進センター
電話：0278-601272
メール：ks_akaya_postmaster@maff.go.jp

「赤谷の森」自然散策(冬)

令和元年12月1日

赤谷の森自然散策(冬)の開催概要

開催日時：令和2年2月8日(土) 8時15分～15時

開催場所：みなかみ町「赤谷の森」いきもの村

参加費：無料

申込期間：令和2年1月6日(土) 9時～定員になり次第締切り

定員：30名

お問い合わせ先：赤谷森林ふれあい推進センター

電話：0278-601272

メール：ks_akaya_postmaster@maff.go.jp

秋冬

令和元年度

ぐんま山と森林イベント一覧

各イベント情報については主催者から提供された資料をもとに作成していますが、予告なく変更される場合もありますので、参加を希望される場合は必ず主催者発表の情報(ホームページ等)をご確認ください。

赤谷森林ふれあい推進センター

電話：0278-601272

メール：ks_akaya_postmaster@maff.go.jp